

決之受茲以成之也海道不文能之
兼之以委任之旨無^詳商斷一^口忙以之
况以詳考之上其原习法者^{正院}
度此段相向也

明治六年四月三日 南拓以官思田清隆
向之通三候條別紙^{以下}司法省、
及相違候事 正院

明治六年四月廿二日



牙三十三号

常使、
古^通 判^官
於^所委^任上^條以^下之^旨有^白新^律
照^一考^所為^事之^旨有^之序^元東
系^元出^法
課^所以^及在^之旨^有之^旨有^之旨^有之^旨
利^所以^及在^之旨^有之^旨有^之旨^有之^旨
相^對官^之旨^有之^旨有^之旨^有之^旨
相^對官^之旨^有之^旨有^之旨^有之^旨

相成少少論

屏未信

案之不出司法者之選舉

待罪書差... 尤... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

相成

三月三十日

王回

... 亦...

司法省

開拓使之裁判任官杖以下之

... 杖以下之 ... 杖以下之 ...

... 杖以下之 ... 杖以下之 ...

... 杖以下之 ... 杖以下之 ...

... 杖以下之 ... 杖以下之 ...

致書以此公在道此事

司法省

開抄

但し海邊本支屋ハ片委任如回子
明徳三年青月廿二日
正院

尹三十一号
五月廿二日

當使權少主典田中文九門以下通名ノ
輩元函館奉行所附屬ニ候處戊辰ノ夏
清水谷元知府軍函館出張ノ節引継奉
職被申付其以奉樺太表ニ在勤輩在候
然ルニ亡巳七月當使ヲ被置候ニ付函館府
引継相成居候舊幕吏七十三名所屬分
ノ儀東久世元長官在職中稟議ノ上片

目石吏